

2015年2月4日(水)

## 協和エクシオ、社有車に電気自動車を導入し 環境マネジメントの強化およびBCP対策を推進

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、このたび、環境マネジメント活動の強化および BCP 対策の推進などを目的に、グループ会社を含めたエクシオグループ全体で電気自動車を 11 台導入し、各拠点で使用を開始します。

使用開始に先立ち、2月3日、電気自動車の製造・販売元である日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役会長兼社長：カルロス ゴーン）、日産自動車販売株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：村井啓一）の関係者、ならびに当社関係者の出席のもと、導入先の1つである当社の「府中総合技術センタ」（東京都府中市）で出発式を執り行いました。

今回の電気自動車の導入は、エクシオグループ全体で CO<sub>2</sub>排出削減に貢献する環境マネジメント活動の強化に加え、今後の事業継続計画（BCP）の対策として、災害発生時などの有事の際の有効活用なども主な目的としています。

また、当社では電気設備工事はもちろんのこと、太陽光発電システムの設備設置工事や、再生可能エネルギーの固定価格買取制度による売電事業などの環境事業を展開しているほか、今後進展するスマートシティ構想において、電気自動車を重要なアイテムと位置付け、電気自動車を日々運用しながら、新たな事業拡大の可能性を検討することも視野に入れていきます。

導入した電気自動車は、日産自動車製の『日産リーフ』と『e-NV200』の2車種で、特に昨年10月に発売された同社電気自動車初の商用車『e-NV200』に関しては、利便性・積載性に優れたデザインに加え、走行用バッテリーから合計で最大1,500Wの電力を取り出すことができるパワープラグが採用されており、外出先や有事の際の電源確保が可能なことから、発電機が必要な夜間工事での使用など、現在エクシオグループ全体で全国に約4,000台ある工事用車両としての利用の可能性についても検証を実施します。

当社では、今後もCO<sub>2</sub>排出削減をはじめとする地球環境に配慮した取り組みを積極的に実施していくほか、社会に貢献するさまざまな事業を展開してまいります。



導入した電気自動車（日産自動車製『e-NV200』）



【写真左側】府中総合技術センターに設置している充電スタンドと  
導入した電気自動車（日産自動車製『日産リーフ』）

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先  
株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室  
電話：03 - 5778 - 1075（直） FAX：03-5778-1228  
担当：高柳 圭伸